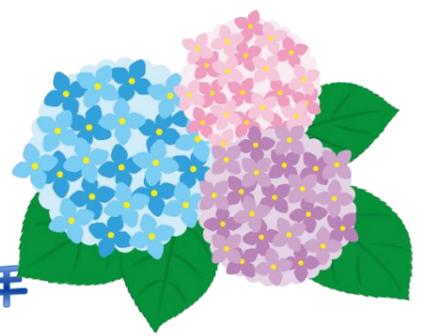




# スタートライン

図書部&進路指導部から、進路情報を発信します。



2022年  
夏号

## ☆小論文対策してますか？

図書館には、小論文への取り組みを手助けする本が沢山あります。その中の何冊かを紹介します。

### ★岩波ブックレット

「はじめの一步、はじめの一冊」をモットーとし、岩波書店から出版されている平均70ページの小冊子。憲法・平和・人権・環境などが主なテーマで、コンパクトにまとめられた知識を増やすのに適した本です。

### ★「小論文これだけ!」シリーズ

著者は樋口裕一さん。文章の書き方指導の本も含めると100冊以上の著書を出版。このシリーズは、超基礎編に始まり、初めて小論を学ぶ人にわかりやすい本です。その本を終了した後は、看護、教育、経済など、学部別のノウハウ本に進みます。段階を踏んで学べる天高小論文対策人気図書です。

### ★月刊新聞ダイジェスト

日本国内で発行された新聞(主に全国紙)の記事を集約し、1ヶ月のニュースを1冊にまとめた雑誌です。政治・経済・教育など、項目別にまとめられているので読みやすいです。社説の読み比べもおもしろいです。巻末に今月のキーワード、時事問題、一般教養問題などがあり、公務員試験対策本としても使えます。

### ★「文藝春秋オピニオン 2022年の論点100」

『ビリギャル』の坪田先生が、小論文対策として、おすすめしている本です。

- ①文章が明晰で、論理的、長さも2400字程度と読みやすい。
- ②旬のテーマを政治・経済から芸能・文化まで幅広く網羅。
- ③読み応えがある文章なので、何度か音読するだけでも、国語力が向上。

### ★「朝日キーワード 2022」

朝日新聞の記者がポイントをわかりやすく解説。入試小論文、就職試験、資格試験対策にぴったりです。

最後に、小論文対策の一番は、「文章を読むことに慣れる」ことではないでしょうか。書かれた課題文の内容を理解できなければ、自分の考えを論理的に述べることはできません。早いうちから、新聞を読み、読書を身近にしておくことが最も大事な対策だと思いますが、みなさん! どう思いますか?



「岩波ブックレット」



「小論文これだけ!」シリーズ



「月刊新聞ダイジェスト」



「論点」と「キーワード」

## 図書館からのおすすめ本

『めんどくさがりなきみのための文章教室』はやみねかおる 著 飛鳥新社



児童文学の人気作家はやみねかおるさんが、文章が上達したい人、書くのが苦手という人の為に書いた本です。猫と少年の会話を読んでいながら、それを実践すれば、自然と文章がうまくなり、最後には小説まで書けるという内容です。この本には、文章力アップのコツがいくつか書かれていますが、まずは、「文章をたくさん読む。あびるように読む」だそうです。猫が少年に言いました。「読書は、文を書くための基本。たくさん読めば読むほど、自分の中に文章が溜ってくる。そして、それは、文を書くときの燃料になる」小論文対策の入門書としておすすめします。

アップのコツがいくつか書かれていますが、まずは、「文章をたくさん読む。あびるように読む」だそうです。猫が少年に言いました。「読書は、文を書くための基本。たくさん読めば読むほど、自分の中に文章が溜ってくる。そして、それは、文を書くときの燃料になる」小論文対策の入門書としておすすめします。



『文章が苦手でも「受かる小論文」の書き方を教えてください』  
今道琢也 著 朝日新聞出版  
誰もが思う切実なタイトルですね。この本も、小論文入門書としておすすめ。上の本と併せて読んでみてください。



『手紙屋 蛍雪篇  
～私の受験勉強を変えた十通の手紙～』  
喜多川 泰 著 ディスカヴァー・トゥエンティワン

何のために勉強するんだろう? 何のために大学に行くんだろう? 進路に悩む女子高生が、「手紙屋」と手紙のやり取りをすることで、勉強することの意味とその面白さを知りました。受験を控えた2、3年生に読んでほしいです。

『手紙屋  
～僕の就職活動を変えた十通の手紙～』  
喜多川 泰 著 ディスカヴァー・トゥエンティワン

就職活動になかなか取り組めない大学4年生が主人公。書斎のようなカフェで手紙屋のチラシを見つけ、10通の手紙のやり取りが始まりました。自分にかけていた就職・働く事に対する考え方に気づいてゆきます。就職する時の心構えや、働くことの意味を考えるきっかけになる本です。蛍雪篇とあわせて読んでください。

